

ラジオNIKKEI

おかげさまで2022年1月期の新規会員募集も定員を上回るお申し込みをいただきました。

ご好評につき次回募集を2022年5月開始で予定しています。それに先立ち**4月23日(土)**に「オンライン入門セミナー」を開催する予定です。詳しくはオプション倶楽部「optionclub.net」をご覧ください



『賢者のマーケットインサイト』資料

(2022年1月26日放送分)

- この資料は、ファイナンシャル・リテラシーの向上のみを目的として作成されたものです。
- したがって、いかなる投資勧誘の目的で作られた物ではございません。
- この資料での数値などにつきましては、信頼できる筋からの情報に基づいておりますが、その正確性を保証するものではありません。
- 投資につきましては、あくまで、自己責任でお願い申し上げます。
- 日経OP売坊は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。

2022年2月限・3月限SQ日までの注目イベント (P.2)

<米国>

- 1月27日: FOMC政策金利
- 1月27日: GDP (速報値)
- 2月04日: **雇用統計・失業率**
- 2月10日: 消費者物価指数
- 2月17日: FOMC議事録公表
- 3月04日: **雇用統計・失業率**
- 3月10日: 消費者物価指数

米GDPの伸びが想定以上であると予想するなら、前日の日経平均の水準にもよりますが、PUTの買いが検討できるでしょう

強い景気指標が出た場合、米国の金利上昇に勢いがつく可能性があります

※SQ日は期近(月次・週次)の未決済建玉が清算されるためオプショントレーダーにとって区切りとなる日です。

2022年 1月

23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2022年 2月

			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28						

2022年 3月

			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11		

<欧州>

- 1月31日: GDP(速報値)
- 2月03日: ECB政策金利
- 3月10日: ECB政策金利

<日本・世界>

- 1月31日: 鉱工業生産指数(速報)
- 1月31日、2末: 【中国】製造業PMI
- 2月01日: 失業率
- 2月04日: **【中国】北京五輪(~20日)**
- 2月28日: 鉱工業生産指数(速報)
- 3月04日: 失業率



	日経225週次オプションのSQ日
	日経225ミニ先物・月次オプションのSQ日
	メジャーSQ 日経225先物・ミニ先物・月次オプションのSQ日

注) 予定は予告なく変更される場合があります。
出所)ブルームバーグ・ロイターなどから管理人作成



OP売坊のグレイ・リノ (P.3)

サイは普段おとなしいが
怒ると、とっても怖いのだ

- 🐘 世界的な自然災害拡大等で食料価格高騰か？
- 🐘 原油価格高騰(WTI100ドル越えも)
- 🐘 米国インフレ加速でスタグフレーションへ
- 🐘 **米国の長短金利動向** [📄P5~7]
- 🐘 **日本の2030年問題** [📄P9]
- 🐘 TOPIX・日経平均の見直し・変更
- 🐘 **2月上旬に決算ラッシュ** [📄P8]
- 🐘 3月限のメジャーSQ(日経平均が荒れる?)
- 🐘 岸田政権と参議院選挙
- 🐘 **北京五輪で新型コロナの感染再拡大**
- 🐘 中国不動産バブル崩壊懸念
- 🐘 日米中の財政悪化と増税
- 🐘 **バフェット指数の異常値**
 - 🐘 米国:194.6(1月20日概算)
 - 🐘 日本:144.8(1月20日概算)
- 🐘 地政学的リスク(ウクライナ)、など



インフレが制御できなくなる可能性は否定できません。コロナ問題で食品などの生活必需品も不足しています。したがって、可処分所得が減ってきていますので、景気にはマイナスです

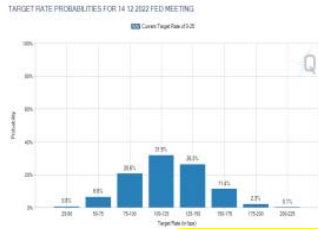
北京五輪で中国がゼロコロナ政策に失敗して新型コロナの感染が拡大すると日経平均のグレイ・リノになり得ると考えています(サプライチェーン、インバウンド消費の遅れ、ワクチン争奪戦など)。あまり認識・指摘されていない点ですので、細心の注意が必要です。また、インパクトも大きいと考えています



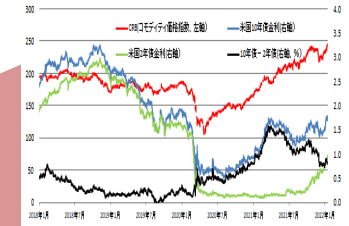
グレイ・リノ(灰色のサイ)とは、高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されている事象のこと。それが起これば、大きな値幅が出るため、オプション投資家に重要となる。特に**PUT買い**を仕掛けられる可能性や、破産もあり得る**PUT売り**を避けられる可能性が高くなる。



2022年の日本株市場を取り巻く環境 (P.4)



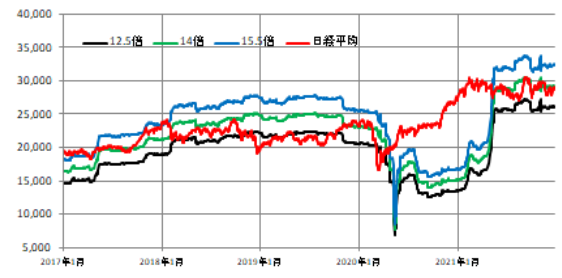
米国長短
金利上昇



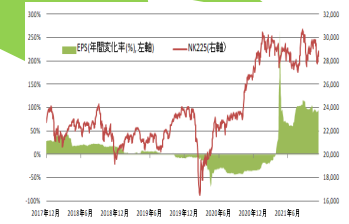
インフレ懸念



日本株市場



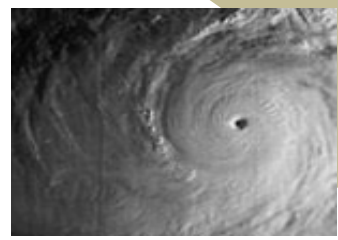
企業業績



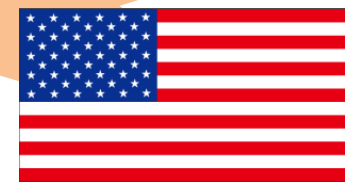
新型コロナ



異常気象



選挙





米国で利上げペースがかなり早まる？ (P.5)

<2022年の各国の選挙日程>

1月	イタリア	大統領選挙
2月13日	ドイツ	大統領選挙
3月9日	韓国	大統領選挙
4月10日、24日	フランス	大統領選挙
6月10日	フランス	国民議会選挙
7月	日本	参議院選挙
10月2日	ブラジル	大統領選挙
10月から11月	中国	共産党大会
11月8日	米国	中間選挙

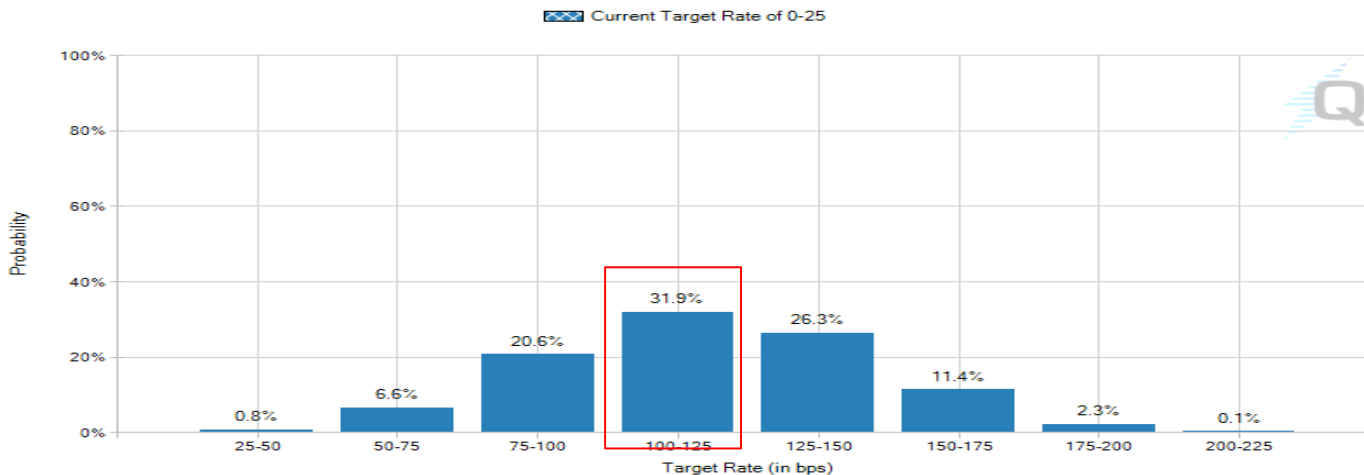
政治日程は株価の波乱となり得る要素です。OP買いを検討するタイミングとなります

2022年	FOMC	利上げ1	利上げ2
1月	26-27		
2月			
3月	16-17	0.25	0.25
4月	27-28		
5月			
6月	15-16	0.25	0.50
7月	27-28		
8月			
9月	21-22	0.25	0.25
10月	1-2		
11月	中間選挙		
12月	14-15		0.25

注) 上記は予告なく変更の場合があります。

注) FOMC開催日は予告なく変更の場合があります。

TARGET RATE PROBABILITIES FOR 14 12 2022 FED MEETING

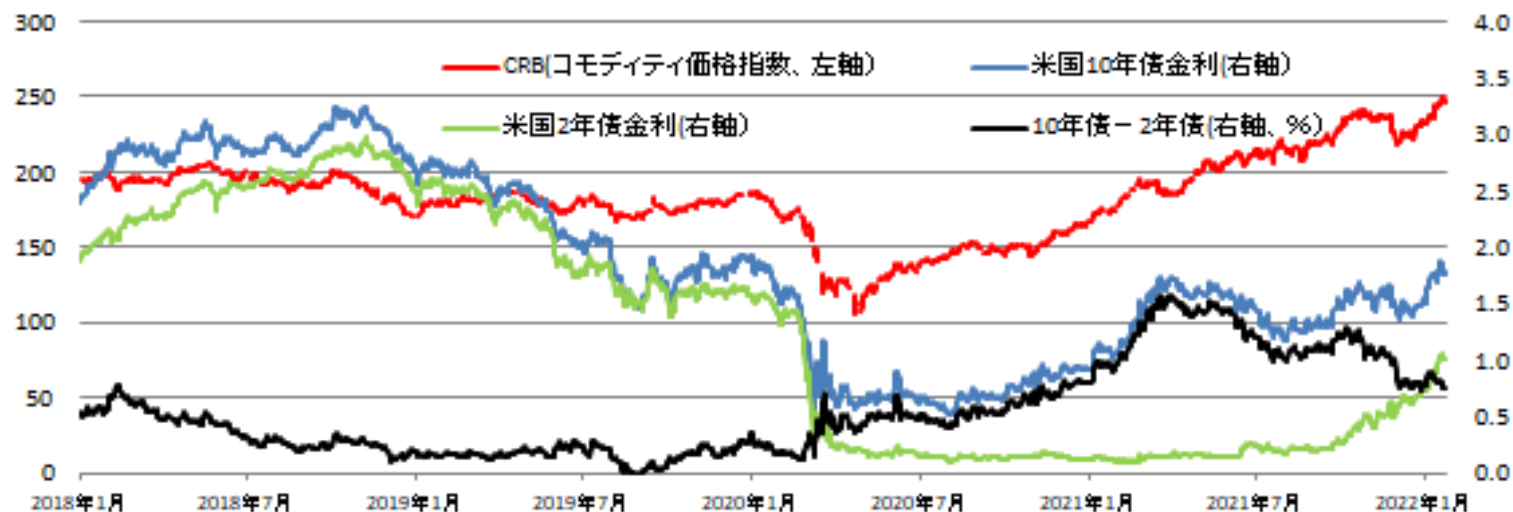


FF金利が2022年末に1.00から1.25%になると予測する向きが多いということです。すでに後手後手となっていますし、金融当局がインフレを退治できると考えるのはいささか楽観的過ぎるかもしれません

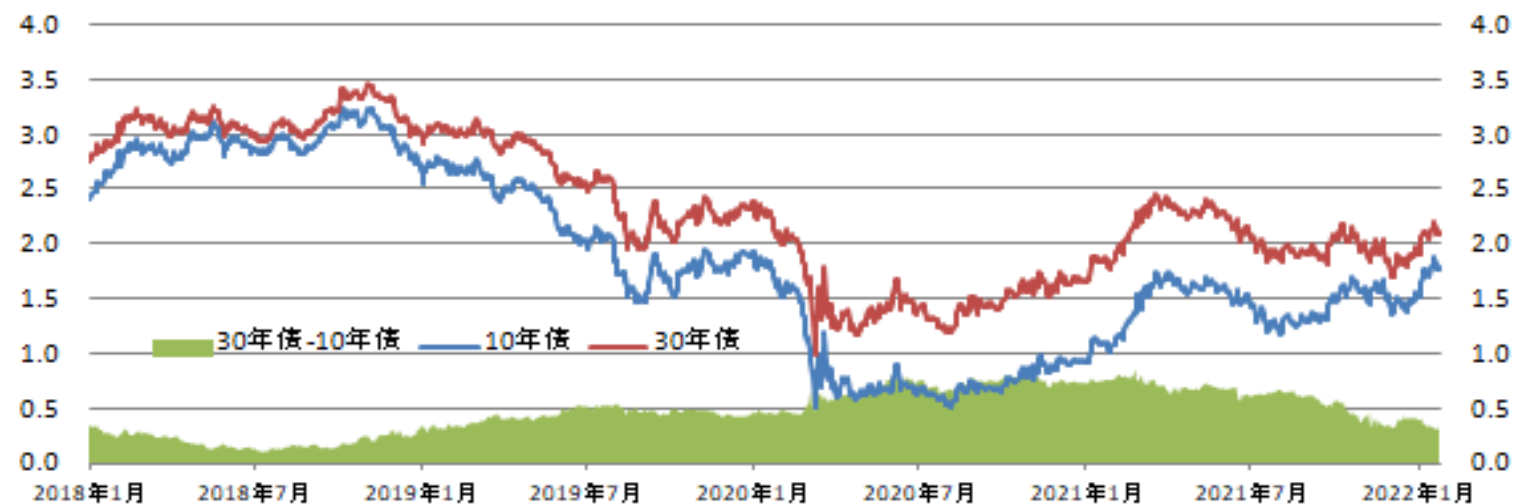
出所)CME FedWatch (2022年1月19日現在)の2022年12月14日FFレート予測



米長期金利(米国債利回り)が低下 (P.6)



米長期金利が年初に上昇したのは市場参加者が想定していた以上に速かつ大幅な利上げ観測となってきたからでしょう



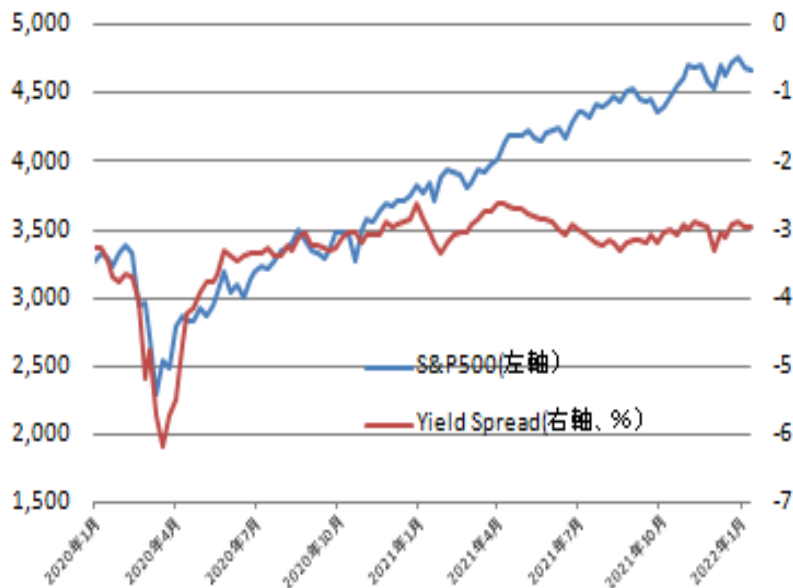
とはいえ、中間選挙をにらんでの積極的な短期金利の引き上げで、長期金利と逆イールドとなる可能性もないとは断言できないと思います



米国債の利回りと米国株の益利回りを比較 (P.7)

イールド・スプレッド (赤線)

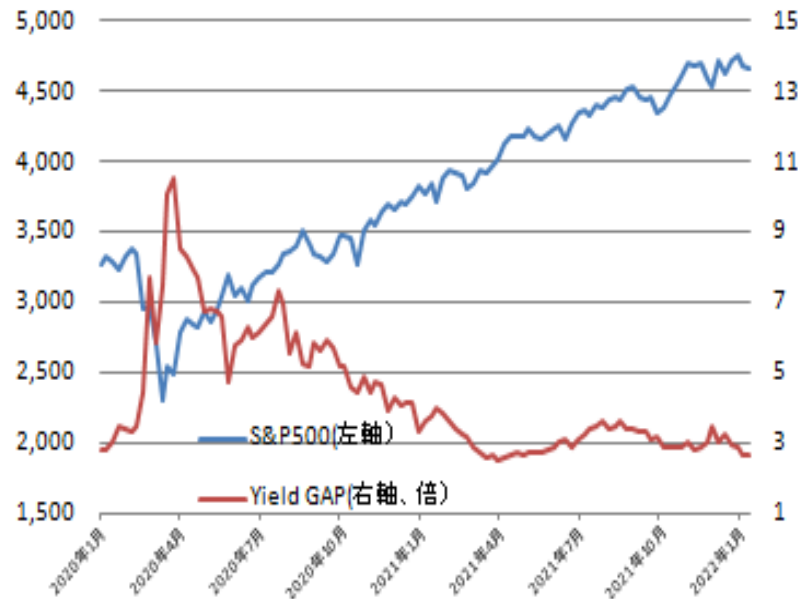
米10年債とS&P500益利回りの差。その相対的な利回りが、ある水準以下に縮まると、株式が割高とみられる。



S&P500が5%下落で
イールド・スプレッドが3%になる

イールド・ギャップ (赤線)

米10年債とS&P500益利回りの倍率。複利効果を考えるとき、スプレッドと同様に倍率でみることがある。



S&P500が20%下落で
イールド・ギャップが3倍になる

目安に戻るには米国株が下がるか、米国企業の予想利益が増加するか、米国債金利が低下するかの組み合わせです



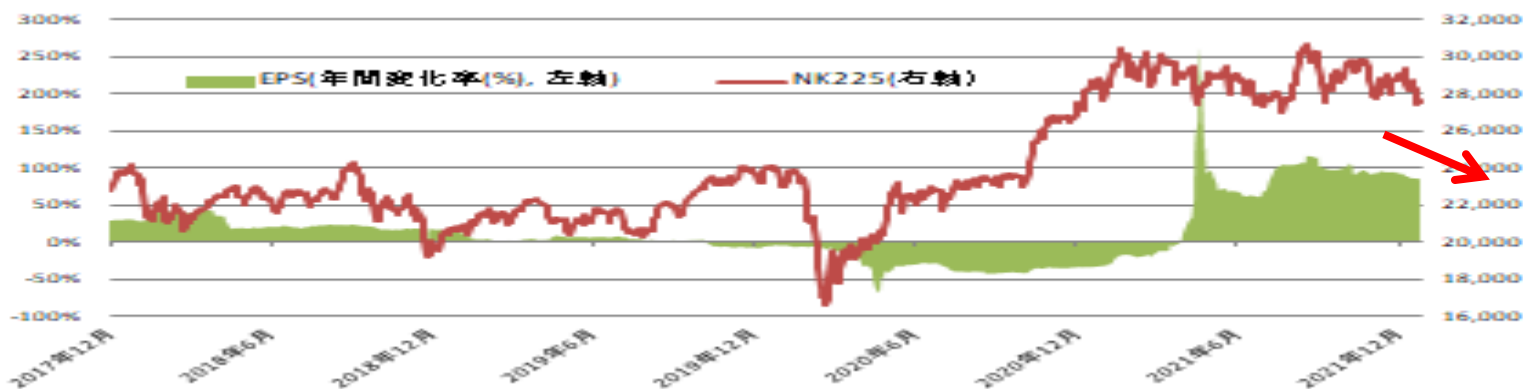
米10年債利回り : 1.791% S&P500 (4662.85) 益利回り : 4.74 (予想)

注) 2022年1月16日現在



日経平均予想EPSの伸び率鈍化 (P.8)

緑で塗りつぶしたグラフは日経平均の予想EPS（1株当たりの利益=企業収益）伸び率



日経平均の3
トップ(東京エ
レクトロン、
ファーストリ
レーリング、
ソフトバンク
グループ)の
決算発表に注
目しています



月	火	水	木	金	土	日
1/17	18	19	20	21	22	23
	4	4	3	5	6	
24	25	26	27	28	29	30
	4	19	22	82	181	
31	2/2	2	3	4	5	6
	310	60	75	116	253	
7	8	9	10	11	12	13
	159	198	251	676	2	
14	15	16	17	18	19	20
	583	24	0	4	5	

	EPS	12.5	13.0	13.5	14.0	14.5	15.0	15.5
入力欄(下限)	0	0	0	0	0	0	0	0
	2000	25,000	26,000	27,000	28,000	29,000	30,000	31,000
	2025	25,313	26,325	27,338	28,350	29,363	30,375	31,388
2,034.54	2050	25,625	26,650	27,675	28,700	29,725	30,750	31,775
2.0%	2075	25,938	26,975	28,013	29,050	30,088	31,125	32,163
3.2%	2100	26,250	27,300	28,350	29,400	30,450	31,500	32,550
4.4%	2125	26,563	27,625	28,688	29,750	30,813	31,875	32,938
5.7%	2150	26,875	27,950	29,025	30,100	31,175	32,250	33,325
6.9%	2175	27,188	28,275	29,363	30,450	31,538	32,625	33,713
8.1%	2200	27,500	28,600	29,700	30,800	31,900	33,000	34,100
9.4%	2225	27,813	28,925	30,038	31,150	32,263	33,375	34,488
10.6%	2250	28,125	29,250	30,375	31,500	32,625	33,750	34,875
11.8%	2275	28,438	29,575	30,713	31,850	32,988	34,125	35,263
13.0%	2300	28,750	29,900	31,050	32,200	33,350	34,500	35,650
14.3%	2325	29,063	30,225	31,388	32,550	33,713	34,875	36,038
15.5%	2350	29,375	30,550	31,725	32,900	34,075	35,250	36,425
16.7%	2375	29,688	30,875	32,063	33,250	34,438	35,625	36,813
18.0%	2400	30,000	31,200	32,400	33,600	34,800	36,000	37,200

このマトリク
スで例えば、
3万円に到達
する予想EPS
とPER水準
(経験値: 12
~14倍)の組
み合わせが分
かります

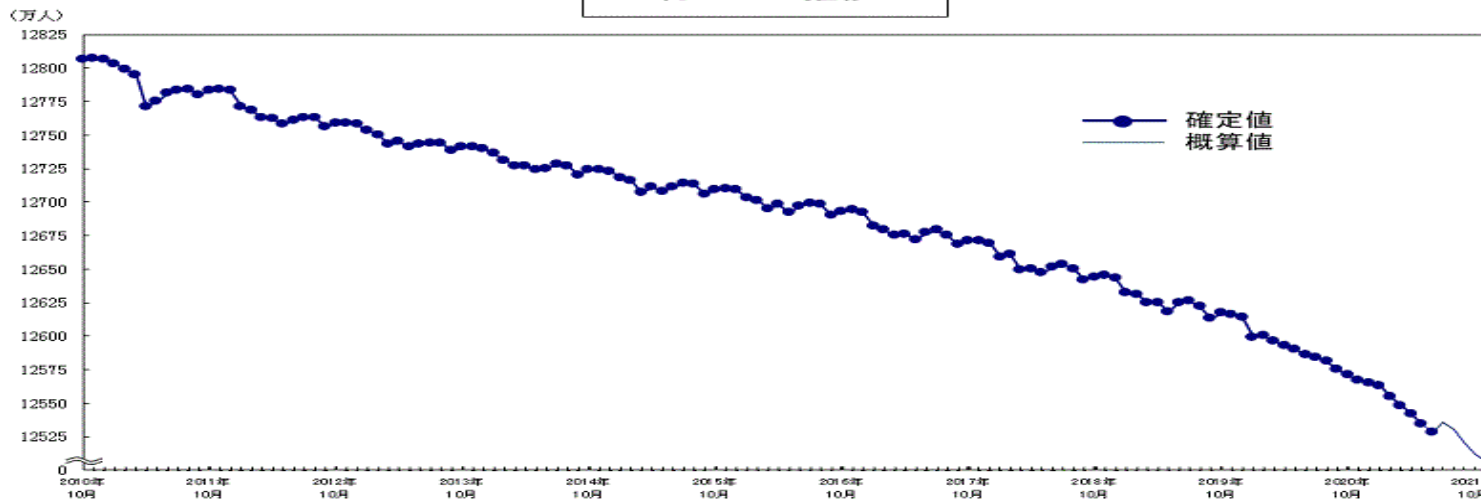
出所) disclosure.tokyo 2022年1月22日現在

出所) 日経新聞などより筆者作成 (2022年1月24日現在)



日本の2030年問題 (P.9)

総人口の推移



日本人の老齢化と労働力不足の問題です。今後10年で1100万人減少の予測、今後20年では2000万人以上減少も…

労働者が確保できないと**経済が回りません**。また、人口が減るとことは、売上げが減る業種も出てきます

総人口 (確定値) Total population (Final estimates)

年 月 Year and month	月初人口 ¹⁾²⁾ Population as of 1st of each month	人 口 増 減 ³⁾ Population change							
		純 増 減 Net change		自 然 動 態 ⁴⁾ Natural change			社 会 動 態 ⁵⁾ Migration change		
		増減数 Number (6)+(9)	増減率 ⁶⁾ Rate (%)	出生児数 Live Births	死亡者数 Deaths	自然増減 Natural change (4)-(5)	入国者数 Entries	出国者数 Exits	社会増減 Net migration (7)-(8)
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	
2011年	127,834,233								
2012年	127,592,657	-241,576	-1.89	1,046,825	1,248,186	-201,361	2,756,710	2,835,515	-78,805
2013年	127,413,888	-178,769	-1.40	1,044,983	1,276,719	-231,736	2,796,384	2,782,006	14,378
2014年	127,237,150	-176,738	-1.39	1,022,371	1,274,085	-251,714	2,910,793	2,874,407	36,386
2015年	127,094,745 ⁸⁾	-142,405	-1.12	1,025,105	1,300,537	-275,432	3,079,784	2,985,346	94,438
2016年	126,932,772	-161,973	-1.27	1,004,068	1,299,933	-295,865	3,361,488	3,227,596	133,892
2017年	126,706,210	-226,562	-1.78	965,289	1,342,578	-377,289	3,615,119	3,464,392	150,727
2018年	126,443,180	-263,030	-2.08	944,146	1,368,632	-424,486	3,848,382	3,686,926	161,456
2019年	126,166,948	-276,232	-2.18	895,844	1,380,859	-485,015	4,181,759	3,972,976	208,783
2020年	125,708,382	-458,566	-3.63	870,769	1,371,242	-500,473	1,997,178	1,955,271	41,907

ジム・ロジャーズは「20年後、日本は必ず没落する」と発言しています



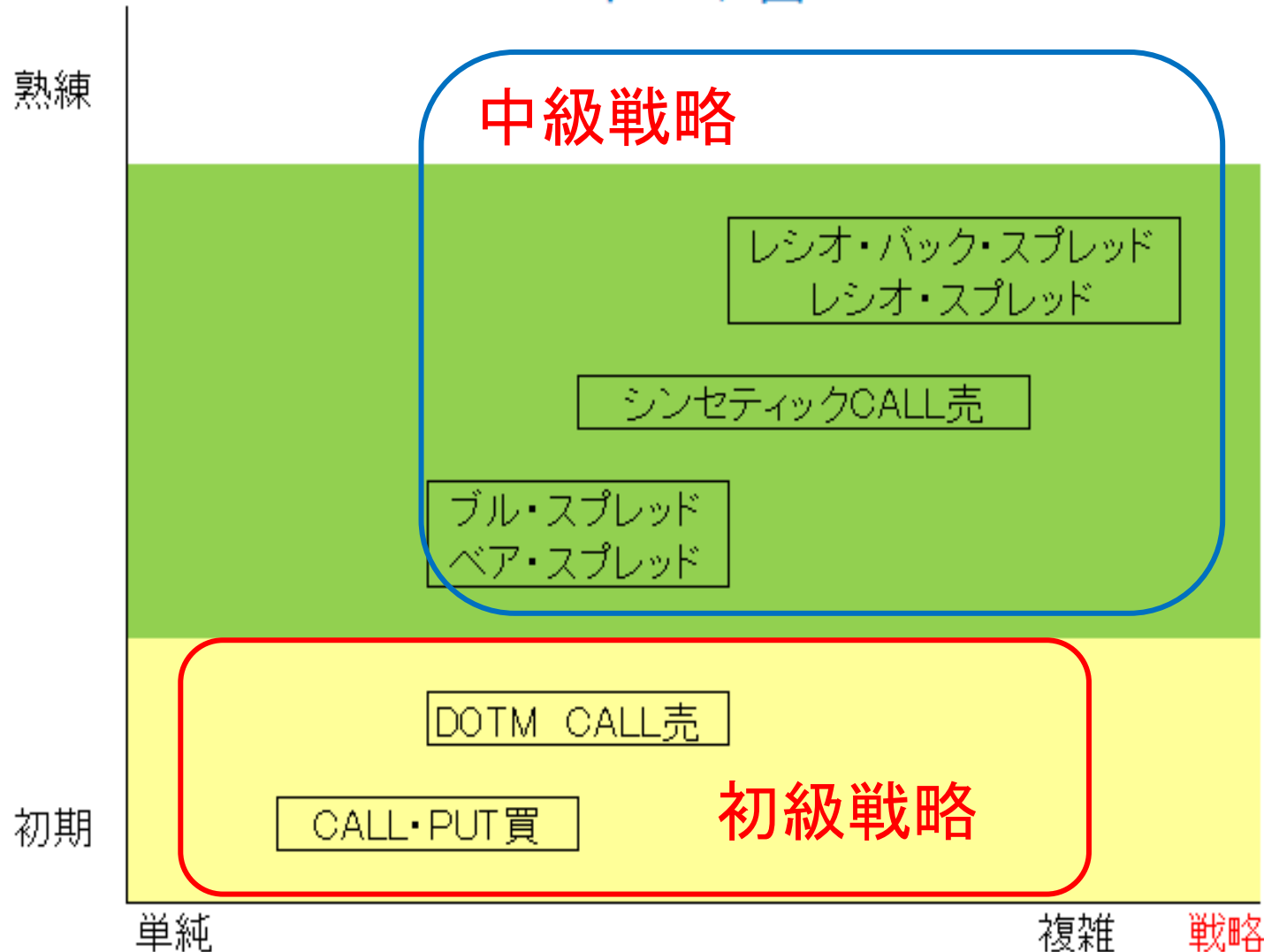
日本の総人口が過去5年で94万人減と発表されているが

- ☆ 日本人はその間、178万人も減少している
 - ☆ 一方、外国人人口がその間、84万人増えた
- 出所) 東洋経済

OP売坊の日経225戦略イメージ＝初級戦略と中級戦略 (P.10)

経験・知識

イメージ図

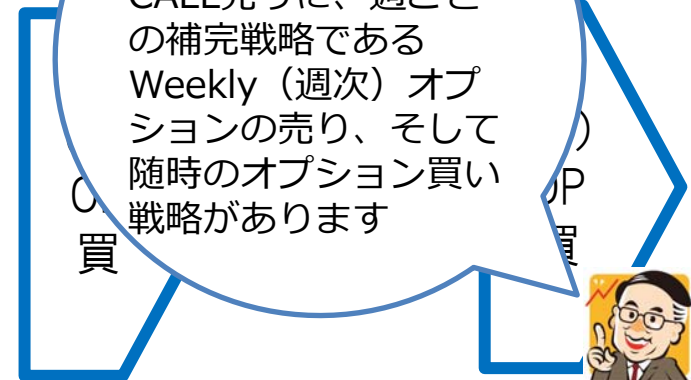
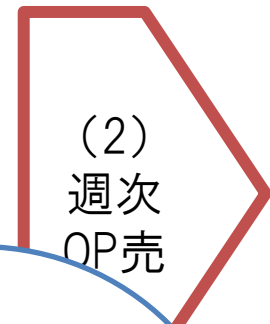
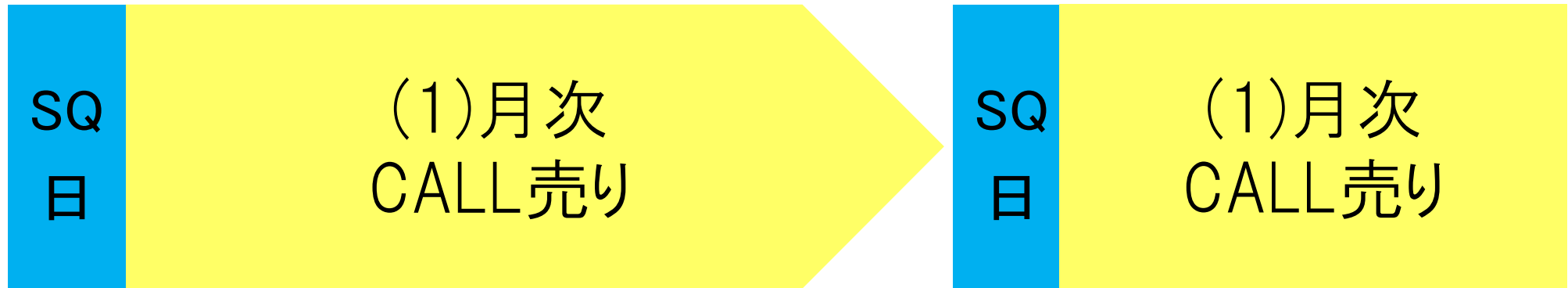


【オプション倶楽部】
OP売坊戦略コースでは、日経225オプションを対象とした初級戦略と中級戦略を紹介しています。新規の会員様には、まず初級戦略（単独CALL売りと単独OP買い）の習熟から始めていただければと考えています



CALL売りはOP取引最大の勘所である建玉管理と証拠金管理を会得しやすいと考えているからです

初級戦略のイメージ=2つの売り戦略と1つの買い戦略 (P.11)



初級戦略には、月ごとの主戦略である月次CALL売りに、週ごとの補完戦略であるWeekly (週次) オプションの売り、そして随時のオプション買い戦略があります



買い戦略 (P.12)

<単独CALL/PUT買い戦略の利点>



- ☆ 数時間～数日の短期戦略 = 売り戻しが基本、SQ日まで持つことは少ない
- ☆ リスク限定 = 最大損失は購入時に支払った“権利料 (プレミアム) ”のみ
- ☆ イベント・リスクの逆張り = 目先の反発・反落で仕掛けても怖くない
- ☆ グレイ・リノを味方に = 市場の動揺 (ボラティリティ上昇) を機会とする
- ☆ 2倍、5倍、10倍も期待できる = 日経平均の変動 + ボラティリティの変動



OP買いは支払うプレミアムが許容範囲での基本的に短期勝負です。異常値や政治・経済イベントなどを見て仕掛ける戦略となります

なお、買い戦略では取引証拠金が不要ですので、資金繰りの心配をする必要がありません



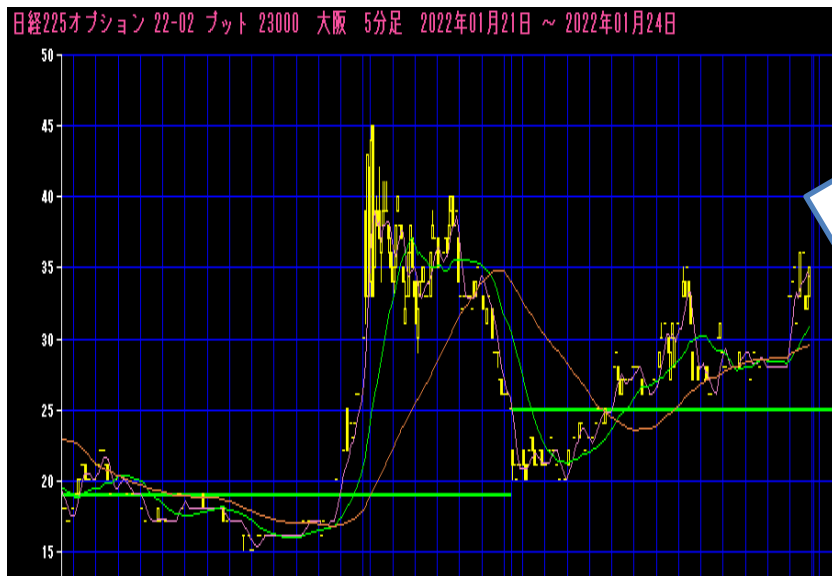
買い戦略の例 (P.13)



日経平均が三角保ち合いを
下放れたと考えられます

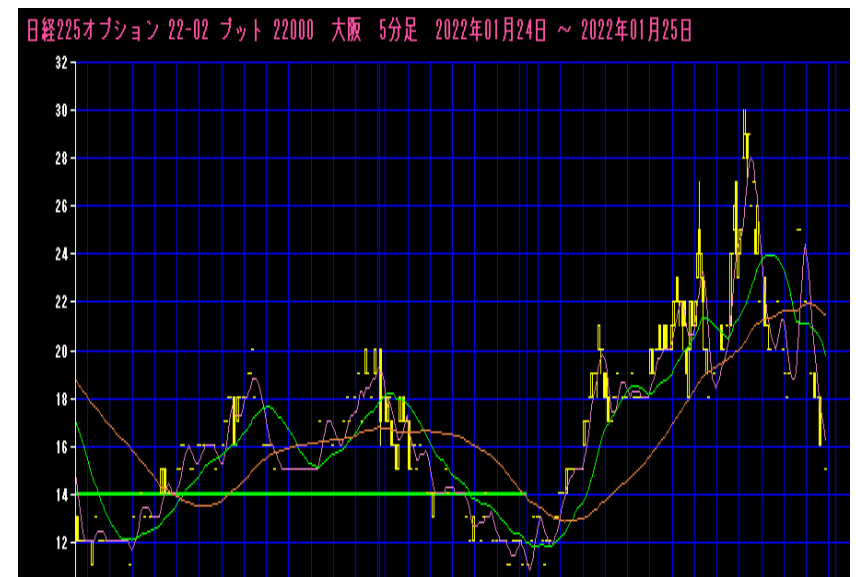
出所 & ©) <http://www.chartfind.net/chart?code=n225>より、筆者傾向線追加)

22年2月限23000PUT (1/21~24)



19日の下放れ
を見ての仕掛
けでも、20日
に戻したところ
を逆張りで
仕掛けても、
チャンスだっ
たと思います

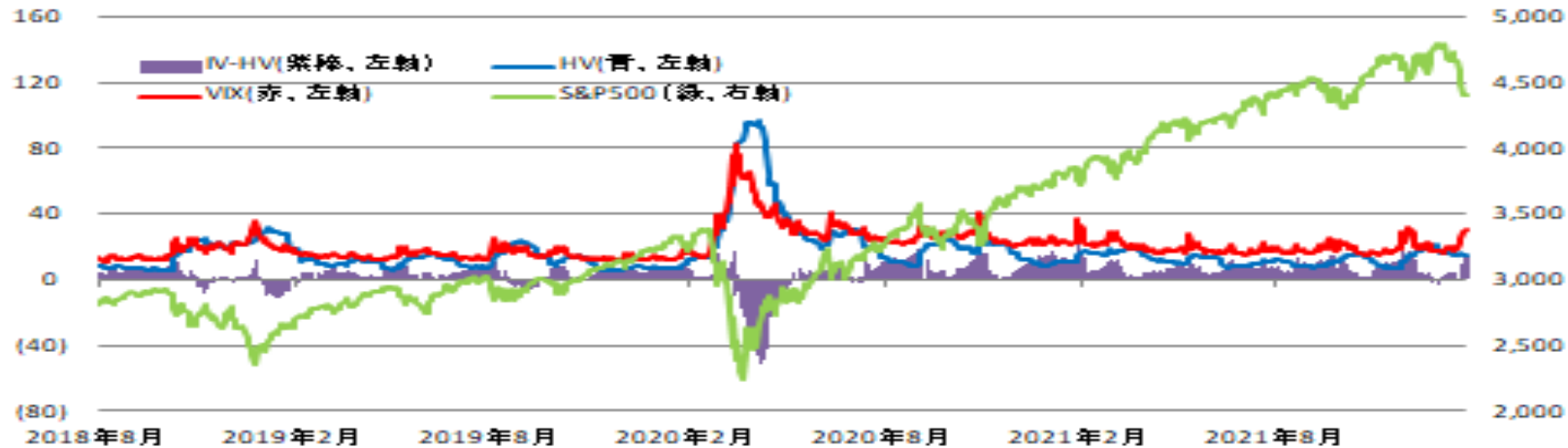
22年2月限22000PUT (1/24~25)



出所)ブルームバーグ、日本経済新聞より筆者作成(2022年1月25日現在)

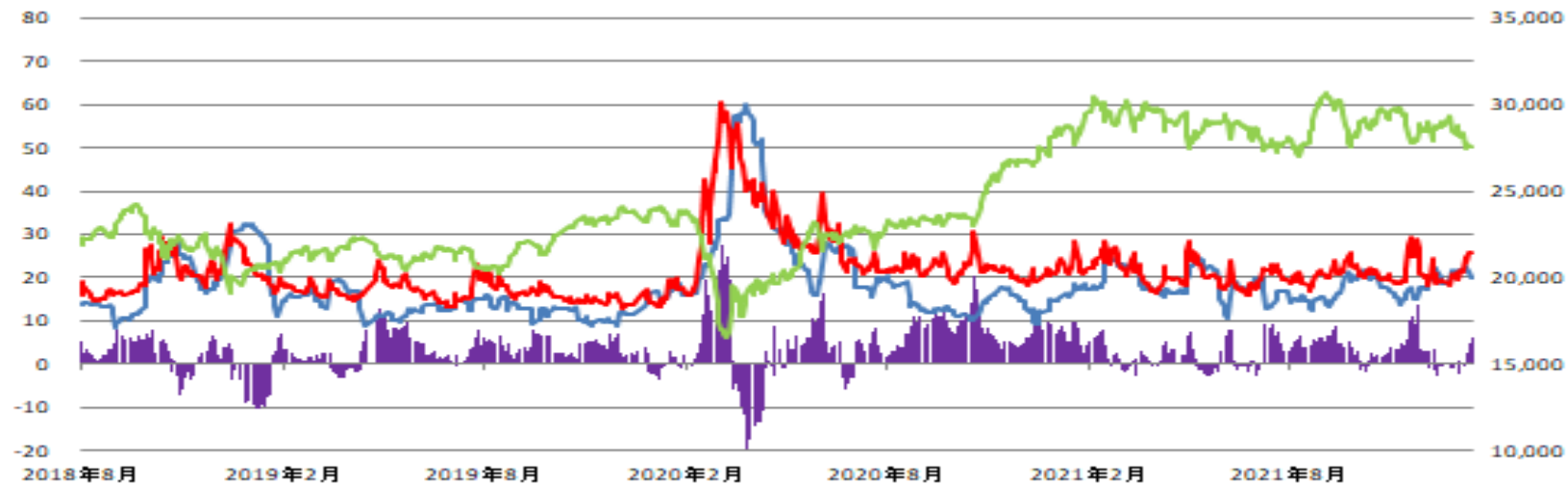
HVとIVは相場の状況を語り掛けてくれる情報源 (P.14)

S&P500 (緑、右軸)、HV (青、左軸)、IV=VIX指数 (赤、左軸)、IV-HV (紫棒、左軸)



ボラティリティには過去の指数のデータから計算したヒストリカル・ボラティリティ (HV) とそのオプション価格から逆算したインプライド・ボラティリティ (IV) があり、それぞれが、また組み合わせで相場状況を伝えてくれます

日経平均 (緑、右軸)、HV (青、左軸)、IV=日経VI (赤、左軸)、IV-HV (紫棒、左軸)



出所)ブルームバーグ、日本経済新聞より筆者作成(2022年1月24日現在)

OP売坊の重要視しているもの (P.15)

確率、勝率、収益率
パターン分析(時系列、分布)
資金管理、リスク管理
簡単、シンプル

次回は**2月16日**に出演させていただく予定です。本資料は番組HPまたはオプション倶楽部HP (optionclub.net) から無料メルマガ「グレイ・リノ通信」にご登録いただくと取得できます。メルマガでは補足Q&A記事などの情報も配信しておりますので、ぜひぜひご参照ください！



オプション倶楽部



最後までご清聴、誠にありがとうございました。

筆者ブログ『実践日経オプション教室』

www.jissennkop.blog.fc2.com

Copyright (c) 2019-2022日経OP売坊

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.